

2015年5月18日

一般社団法人JBIA 社員各位

定時社員総会開催通知

日頃から、一般社団法人JBIA運営に関し多大なるご理解とご協力を賜り有難うございます。さて、定款の定めにより下記要領にて定時社員総会を実施しますのでご案内申し上げます。

一般社団法人JBIA
代表理事 星野 敏

1. 日時：2015年5月29日（金）午前10時30分
2. 場所：一般社団法人JBIA主たる事務所
（東京都港区芝公園3-5-8機会振興会館T-BISC内）
3. 議事内容：定時社員総会議案（次頁以降）による
4. 議事要領：法第38条「決議においては書面にて行使することができる」併用。
（例年と同様、全国に社員が存在するJBIA総会の実施は、経済面で合理的な運用をしたいと思っておりますので、委任または書面（電磁可）決議をご活用下さい。）

書面審議の議決書又は委任状は2015年5月28日午前12時までに事務局 (soukai@jbia.jp) に必着するようご送付下さい。

定時社員総会議案

議事内容

- I 2014年度事業報告
- II 第1号議案 2014年度決算承認の件
- III 第2号議案 2015年度予算承認の件
- IV 第3号議案 第4期役員選任の件

2015年5月29日

一般社団法人 J B I A

I 2014年度事業報告

1. はじめに

2014年度は、事務局機能の効率化を図るためにIT化を進め、会員管理システムを導入しました。初年度ということもあり、多少の混乱は発生しましたが、今後、会員数が増大しても対応可能なシステム構築が叶ったと考えます。

一方、「地方創生」に表現されますように、都市部と地方、また地方においても各々の地方間で、大きな乖離や格差が生じてきてことは否めません。アベノミクスによる景気回復の陰で、人口が大きく減少すると想定される地域など、置かれている状況が一律ではない我が国において、BI/IMの在り方も一通りでは済まされず、多様化対応、選択と集中がより喫緊の課題となった年でもありました。

2. 2014年度の活動内容

今年度の事業計画に沿って以下の事業を実施しました。

1) 定款記載の事業

(1) 人材育成事業協力

- ・一般財団法人日本立地センター第32期
- ・北海道IM養成研修
- ・福島県街なか産業人材育成事業IM養成研修
- ・次年度開催の北海道、山形、滋賀の企画打合せ

(2) 認定事業 (IM認定、BI認定の実施)

2014年度は東京、北海道、福島のIM養成研修修了者42名、その他3名、失効回復1名の合計46名をJBIA-IMに認定しました。又、既存の認定IMの中から7名をシニアIMに認定しました。

(3) IM就業斡旋

2014年度は求人2件に対して、求職2件の斡旋を行いました。マッチングは不成立でした。

(4) シンポジウム (共催) (実施状況はウェブサイトで広報)

関西地区 IMネットワーク協議会セミナー/JBIAセミナー

島屋BIにて開催 4月 8日

東北地区 東北IM連携協議会ワークショップ in 登米兼JBIAシンポジウム

登米市にて開催 7月 3日

中部地区 中部IMネットワーク連携協議会シンポジウム

あいちベンチャーハウスにて開催 7月 4日

東北地区 東北 IM 連携協議会ワークショップ in 米沢兼 JBIA シンポジウム
米沢市にて開催 10月23日

沖縄地区 第2回沖縄県ベンチャー支援ネットワーク連絡会議
名護市産業支援センターにて開催 11月27日

(5) 国内外機関との交流

AABI (アジアビジネスインキュベーション協会) Award 2014 審査協力 7月

大阪 S-Cube 訪問 見学と情報交換 10月21日

大分 ホルトホール、United Share 見学と情報交換 11月13日

長崎 長崎県産業振興財団及び民間 BI 事業者と情報交換 11月14日

沖縄 沖縄県内 BI 施設訪問 施設管理者と情報交換 11月28日

旭川 旭川産業創造プラザ見学、前日現地 IM 等と情報交換 12月12日

岡山 ビジネス・インキュベータ岡山見学 現地 IM 等と情報交換 2月24日
岡山リサーチパーク訪問と情報交換 2月25日

(6) 原発被災地復興応援事業

小高ワーカーズベース訪問 6月11日、3月3日

現地見学並びに地域再生観点と事業者育成面に絞る活動内容ヒアリング

(7) 女性 IM ネットワーク拡充協力

女性 IM 沖縄サミット開催 島外から7名参加 4月21日

ウーマノミクスプロジェクト in 春日部の商工祭り体験出店見学 10月19日

同上 さいたまスーパーアリーナに於ける体験出店見学 11月8日

S-Cube 実施の女性起業セミナー状況ヒアリング並びに情報収集 10月21日

JBIA 女性会員で女性対象に IM 活動をしている4名の協力で、起業者育成に関するアンケートによるノウハウ提供を受け整理

(8) 情報・広報活動業務

① ウェブサイトによる JBIA の事業紹介

② ウェブサイトによる全国 BI/IM 活動の広報

③ facebook「IMホットライン」(クローズドユーザーグループ)による情報交換
促進

④ facebook ページによる一般向けトピックスの広報

⑤ ニュースレター(電子)発行

2) 理事会開催状況

電磁理事会

5月22日 定時総会議案承認の件

8月5日 シニア IM 審査委員承認の件

9月12日 シニア IM 認定承認の件

12月19日 JBIA 入会並びに認定 IM 承認の件

1月16日 J B I A入会並びに認定IM承認の件

3月21日 J B I A入会並びに認定IM承認の件

シニアIM認定承認の件

3) 社員総会開催状況

電磁社員総会

日時：2014年5月30日（金）午前10時30分

場所：一般社団法人J B I A主たる事務所

（東京都港区芝公園3-5-8機会振興会館T-B I S C内）

議事内容：定時社員総会議案

I 2013年度事業報告

II 第1号議案 2013年度決算承認の件

III 第2号議案 2014年度予算承認の件

社員総数12名、出席1名、書面審議者7名、欠席4名

出席率66.7%（総会成立）

出席社員議案賛成率100.0%

議案 全案承認

4) 会員状況（2015年3月末）

・個人	IM	275人
	Senior IM	52人
	認定なし	1人
・BI内個人	IM	31人
	Senior IM	11人
	認定なし	9人
・団体		31団体
・協賛個人		3人
・協賛団体		0団体

II 第1号議案 2014年度決算承認の件

一般社団法人JBIAは、2014年4月1日より事業計画に基づき、報告書記載の諸事業を実施し、公益活動の団体として決算期を終えた。

収入面は；

- ・複数のIM養成研修協力により多数の会員が増え増加がみられた。

支出面；

- ・事業費に関しては、各地のIM活動と共催のシンポジウムも行政等の支援等を得られたため、支出は計画より少なかった。
- ・役員の活動が活発であったために、旅費交通費の支出が昨年度より増加した。
- ・管理費に関しては、自前の事務局を確保したことにより地代家賃が増加した。また会員管理システムのIT化による委託費が昨年度より増加した。

収入が伸びたことに反し支出が計画より減少したため残金を蓄積することになった。貸借対照表、正味財産増減計算書については添付決算資料を参照されたい。また監査報告書についても添付資料を参照されたい。

III 第2号議案 2015年度活動方針ならびに事業計画および予算承認の件

はじめに

JBIAは、2015年度から事業年度として第4期を迎えることとなりますが、どのような経過をたどってきたのかを振り返ってみると、第1期は、会員所有のレンタルオフィスを利用し、低コスト維持を図りつつ会員増加と認定業務のソフト充実等に努めて基礎を築きました。

第2期は独立した事務所をインキュベーションの老舗であるKSP内に置くと共に会員の心理的な拠り所をも提供してきました。第3期は各地独自のIM研修協力とそれにより増加する会員に応えるため、都内に形式的な本部を置き、実態は人的、物的に協力体制が豊富な福島県内に事務局を移し、機能の拡充を図ると同時に世界に向けてFUKUSHIMAの健全をアピールしてきました。

そして新年度である第4期は、はからずもJBIAが現代日本型BI/IMとして転換を図ってきた内容と、わが国が掲げる目玉政策「地方の創生」の内容が概ね一致するのを機会に素早くそれに呼応し、JBIAの大勢を占める認定IM会員の社会的地位の確立を図ることを目指す期とします。

即ち、JBIA設立当初から定款に定めているBI/IMの認証事業を更に充実且つシステム化することにより、国や地方自治体或いは民間事業者の起業家育成及び産業創造面で、それ

を担う人材や団体に「信頼性」を付与するための、JBIA の認証機関強化の初年とします。そして今までの俗人的な運営から永続性のある組織運営へ、さらに全国バランスにも配慮しつつ、今までよりスピーディーで実行の容易性を考慮した運営体制へ転換を図ることとします。

但し、変革への初年である 2015 年度は、計画策定と試行が主となるため予算面では昨年度とほぼ同様です。

2. 2015年度事業計画

1) 人材育成、育成協力

(1) 人材育成事業

地域独自の IM研修を自立的に主宰出来る人材の育成を行う。

予算 15 万円 (初年は JBIA ノウハウ蓄積を兼ねて希望地域 (3 か所程度) への出張セミナー行う)

(2) 育成事業協力

①一般財団法人日本立地センター主催 IM養成研修及びBI研修

(IM養成研修は2クール開催予定)

②各地域主催 IM養成研修サポート 滋賀、山形 (新規)、北海道、岡山、広島 (新規)、福島、大分 (新規)

(3) IM・BI認定 (IM認定、BI認定)

①IM養成研修並びに地域独自IM養成研修の修了生の80%をIM認定申請

②シニアIM認定

予算 6 万円 (審査委員謝金 6名×1万円)

(4) JBIAシンポジウムおよび各地域シンポジウム (共催)

予算 55 万円 (東京 30 万円、開催地 5×5 万円)

(JBIA兼関東IM連携協議会発足記念シンポジウム開催 7月10日、その他、北海道、東北、中部のシンポジウム開催を見込む)

(5) 福島原発被災地復興応援事業

予算 5 万円 (2 回程度訪問、活動紹介情報収集 旅費交通費)

(6) 女性起業家育成 IM支援事業

予算 25 万円 (会場費、資料代、旅費交通費)

(全国の事例を収集し関心のあるIM対象にセミナー等を開催する)

(7) 情報・広報活動

2) 国際交流

予算： 6 万円

① AABI 加盟費

3) 業務効率化

①事務局業務委託

予算： 80 万円

② 会員データ自主入力システム改良

会員データの自主入力化と諸書式出力の自動化システムの改良

予算： 10 万円

4) 事務所運営

事務局機能と情報管理の確保。

予算： 20 万円 (11,880 円×13 か月分+電気代 25,000 円+α)

IV 第3号議案 役員選任の件

第3期(2013～2014年度)の役員任期が2015年3月31日で終了(定款第4条1項、2項)した。第3期は定型業務を確実に実施しJBIAの実績を積むことに主眼を置いた役員構成としたが、第4期は2015年度事業計画にて提案した新事業計画の実施にあたり合意形成の容易化と実行のため、下記を役員候補としたい。

理事候補者

1. 星野 敏 (再任)
2. 福田 稔 (新任) 前監事
3. 田村 信文 (新任) (高崎市産業創造館勤務、シニアIM、藤岡市在住)

監事候補者

1. 西岡 孝幸 (新任) 前理事
2. 柿崎 博美 (新任) 前理事